ほたるしょうだより

【 家庭数配布 】

がっこうきょういくもくひょう

ともに学び、活動し、やりぬくよろこびを創造する一学びを力 に一 とことんともだち とことんやりぬく ほたるっこ

たきな行事を素晴らしい発表で盛り上げた2学期でした!!

※業式で発しぶりに体育館に全貨揃い、子どもたちの顔や茂成を見ながら話ができるのではないかと楽しみにしていましたが、体調をくずしている児童が少なくないためオンラインで行うことにしました。(義然ですが、しょうがないですね・・・) 式の節で、『今年を漢字―文字でますと』の話をしました。ジャストシステムの会社が、今年の漢字に応募した小学生会賞5万2307人の回答の応募内容を調査したものが、なんとも子どもらしく興味を引くものだったので、その話をしました。第3位は『悲』(理由)ウクライナの戦争があってたくさんの人の冷がうばわれてしまって悲しい。学校でなかなかクラスメイトが全賞そろわなくて悲しかった。第2位は『二』(理由)今年は2022年で2という数字が梦い。成人年齢が20予から18予と2予下がったから。第1位は『楽』(理由)制限がなくなって自由な「所にいけるようになって楽しい。1年生になって学校が楽しい。2年道続『楽』が1位だったそうです。希望が見える漢字ですね!!

2 学期は、3 年ぶりの登校揃っての運動会や150 周 年記念行事と小学校としての共きな行事を子どもたちの素晴らしい発表で盛り上げてくれました。(150 周 年式 風 の 各 学 年 の お祝いの 案 表 は、2 月 18 日 (土) の 公開研究 発表 会 の 全体会で 保護者の 方に 見ていただく 事としました。) また、学 級 や 学 年 でも 学びが 深まったり、 評 も 強まったと 思います。

さて、待ちに待った答休みです。この時期にしか体験できない行事や風習を味わいながら、家族でのほっこり塩かい客休みを過ごしてください。そして、エネルギーを蓄えて3学期の婚業式には、元気に登校してきてください。2学期、保護者の皆さまのご支援ご協力、本当にありがとうございました。2023年もどうぞよろしくお願いいたします。



『小学生すくすくテスト』(大阪府教育委員会実施 5・6年生対象)と「全国学力・ がくしゅうじょうきょうきょうさ きんぶかがくしょうじっし ねんせいたいしょう ほんこう けっかがいよう 学習状況調査』(文部科学省実施 6年生対象)の本校の結果概要について

4宵19官実施し、10宵に個公票を遊却しました上記の調査について、奉禄の結果概要をお知らせします。この調査結果は、児童の学力や学習、投党、学校の教育活動のすべてを装すものではありませんが、学校と家庭、地域が学力や学習、投党に関する課題を其常し、筻に 運携を深めていくことを首的としてお知らせいたします。 まず、「小学生すくすくテスト」ですが、答教科(国語・算数・連科)とわくわく問題(教科 横断塑問題)の正答率については、大阪府の平均とほぼ同じか若干上回る結果となりました。

* 空園学方・学習、状況調査では、算数・理科は天阪府の筆筠ご答案とほぼ簡じ結果でした。 国語については、数%下回っていました。その原因の1つは、漢字の書き取りが弱いことです。 真体的な問題では、ろくがを定しく「録画」と書いたのは約5割、はんせいを定しく「反省」と書いたのは約4割、したしむを「親しむ」と定しく書いたのは約5割で、3間とも10数% 帝の平均より低い結果でした。漢字については、乾祥度も書き取りに課題がありました。この 結果を受けて漢字の学習方法等について検討をしていきたいと思います。

「小学生すくすくテスト」の児童アンケート結果で、大阪府を基準として強みのみられる 質問【音定的回答(あてはまる・どちらかといえばあてはまる)が帝の平均より梦いもの】の 上位5つは、下記のものでした。

5 年生	6年生
あなたの学級は、協力的である	将来の夢や目標を持っている
学級会の話し合いでは、少数意見も大切にし	しょがん かんが せっきょくてき はっぱん 自分の考えを積極的に発言している
ている	
頑張りやである	わからないことや知りたいことがあったとき、
	本やインターネット等で調べている
自分と違う考え芳の人と話しているとき、その	直分の考えをノート等に書いている
へんがどうしてそのように 考えているかをわか	
ろうとする	
家の中にホッとする場所がある	授業で挙んだことを、ふだんの生活にいかす
L/ h/.+1\\ 1 \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \	ようにしている

特に、6年生の『将来の夢や目標を持っている』の質問に肯定的回答をした児童が98%で、府の平均より20%ほど高い結果となっています。

2つの調査の結果については、経発変化も見ながら、これからも教^{*}職^{*}員で労耕をしていき、 教^{*}育活動の取組みに生かしていきたいと思っています。